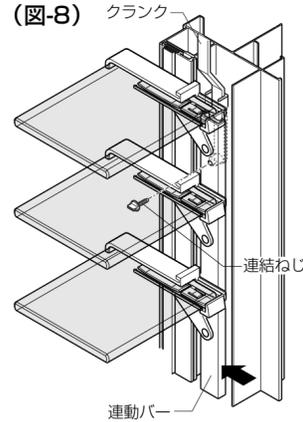


6 連動バーの固定 (図-8参照)

6 連動バーの固定

- クランクと連動バーを連結ねじで固定します。
※ガラスを手で回転させ、連動バーの固定穴とクランクのねじ部を合わせます。

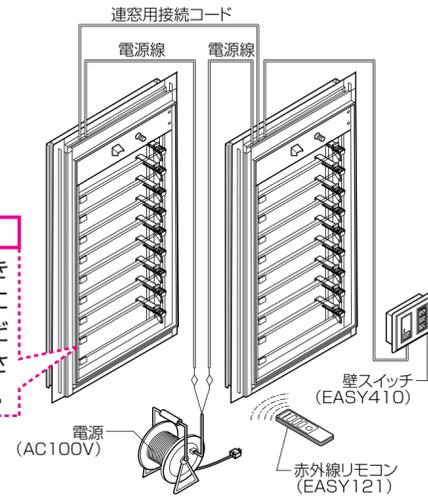


7 作動の確認 (図-9、10参照)

7 作動の確認

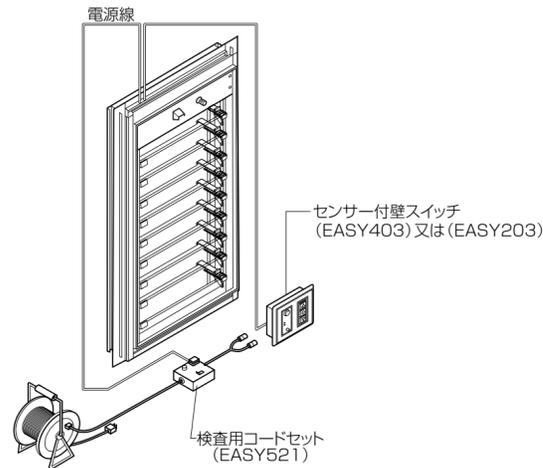
- 組立て後、仮配線をして作動確認をしてください。
(操作方法は、取扱い説明書をご覧ください。)
操作は赤外線リモコンでも壁スイッチでもOKです。
※温度可変・集中制御の場合、検査用コードセット(EASY521)と壁スイッチを使用してください。

標準タイプ (図-9)



注意
●電源を接続するときは、ルーバー部分に手を入れないでください。指などはさむおそれがあります。

温度可変・集中制御タイプ (図-10)



8 電気工事の依頼 (取付け説明書参照)

8 電気工事の依頼 (取付け説明書参照)

- 電源接続線以外の配線は、必ず付属の接続コードを使用してください。
- スイッチの取付け及び結線は、スイッチ同梱の「取付け説明書」をご覧ください。

●この説明書は施工終了後、スイッチと共に電気工事店様にお渡しください。

組立てられる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

警告 …組立てを誤った場合に、使用者が死亡又は重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

注意 …組立てを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

警告

●感電及び漏電のおそれがありますので、電気配線工事は電気工事店様に依頼してください。

注意

- 雨漏りの原因になるおそれがありますので下記事項をお守りください。
 - ・縦枠両端に張り付けてあるコーキングシーラーが下枠のまわりにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。
 - ・ねじは2.5±0.5N・m (25±5Kgf・cm) のトルクで止めた後、ゆるみ・がたつきのないことを確認してください。
- 電源を接続するときは、ルーバー部分に手を入れないでください。指などがはさまれるおそれがあります。

組立て上へのお願い

- 本製品は、標準タイプ(カセット枠A)と温度可変・集中制御タイプ(カセット枠B)の2種類あります。タイプによりカセット枠・壁スイッチ・配線方法が異なりますので必ず確認した後、組み立ててください。
- 組立ての際、コード類をアルミ部材やねじ等ではさみ込まないように取り扱ってください。
- カセット枠・スイッチには電子部品が組み込まれていますので、雨などに濡れないよう取り扱ってください。
- 開梱する前に、梱包形態とタイプ別組合せを確認してください。

本体(共通)	カセット枠A	壁スイッチ・その他(オプション)		
標準タイプ				
	壁スイッチEASY410	赤外線リモコンEASY121	連窓用接続コード 1m EASY505 1m EASY506	
集中制御タイプ	カセット枠B	センサー付壁スイッチ(オプション)		
	個別操作EASY403	集中制御EASY203		

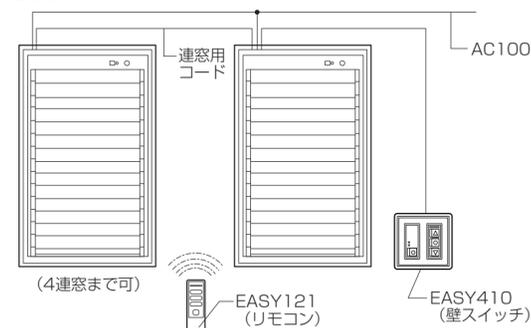
部品セット

組立てねじセット	部品セット			ガラスホルダーセット	
枠組立てねじ①	クランク取付けねじ②	カセット枠取付けねじ③	クランク	クランク連結ねじ	ガラスホルダー
バインドタッピンねじ φ4×20	トラス小ねじM4×8 (戻り止め付き)	トラス小ねじM4×8			クッション材

配線図

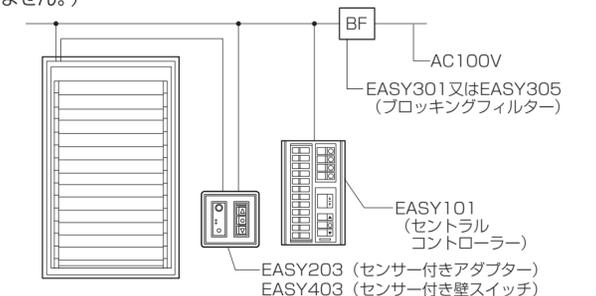
標準タイプ

●リモコンだけで操作する場合は、カセット枠からのAC100Vのみの配線となります。

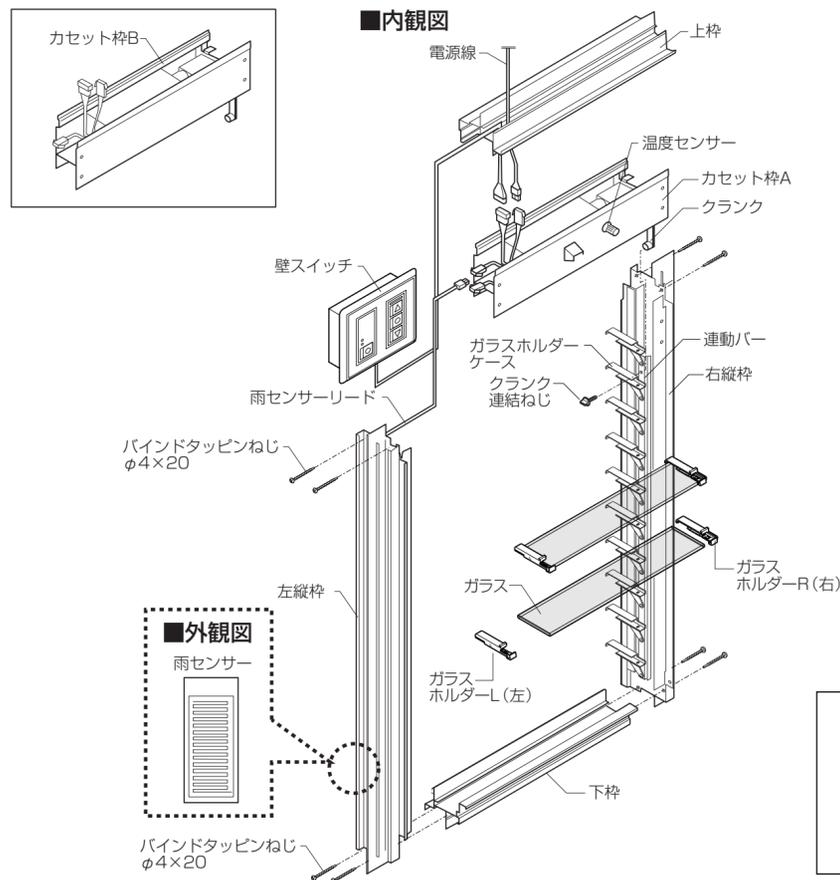


温度可変・集中制御タイプ

●集中制御タイプの場合は、ブロッキングフィルターを設けた分岐回路にAC100Vを接続してください。(EASY403にはブロッキングフィルターは必要ありません。)



■各部姿図



■内観図

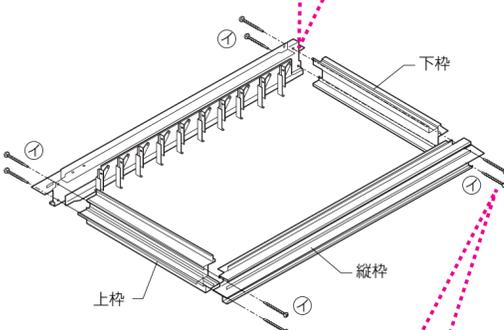
■外観図

■組立て順序

1 縦枠と上枠・下枠の組立て

▲注意

- コーキングシーラーが下枠のまわりにはみ出す様に合わせてからねじ止めしてください。



▲注意

- ねじは2.5±0.5N・m {25±5kgf・cm} のトルクで止めた後、ゆるみ・がたつきのないことを確認してください。

2 クランクの取付け (図-1参照)

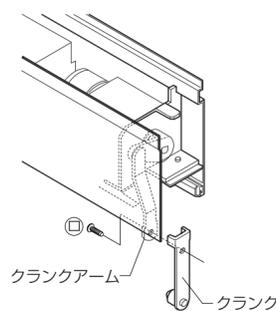
3 コネクターの接続 (図-2、3参照)

■組立て詳細

2 クランクの取付け (図-1)

- モーターからのクランクアームにクランクをねじ止めします。

(図-1)



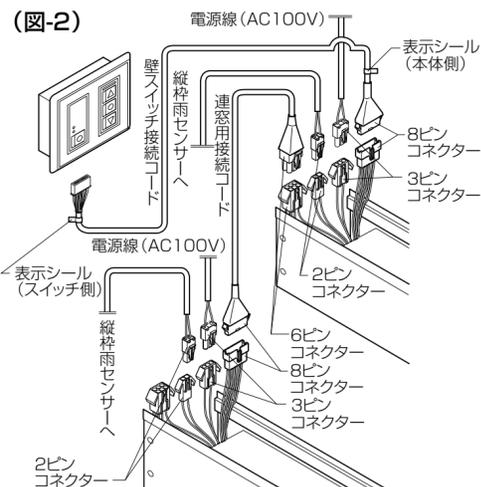
3 コネクターの接続

- 標準タイプか温度可変・集中制御タイプかを確認して組み立ててください。

■標準タイプ

- ①付属の電源線を3ピンコネクターに接続してください。
 - ②左縦枠からでている雨センサーリード線を、2ピンコネクターに接続してください。
 - ③壁スイッチ同梱の壁スイッチ接続コード(本体側)を、8ピンコネクターに接続してください。
 - ④連窓の場合、連窓用接続コードをコネクターに接続し、反対側を連窓側のカセット枠の8ピンコネクターに接続してください。
- ※赤外線リモコンだけ使う場合は電源線(AC100V)のみの接続になります。

(図-2)

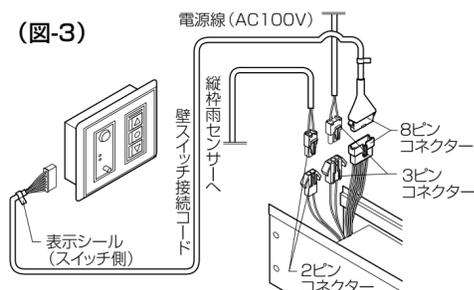


3 コネクターの接続 (図-2、3参照)

■温度可変・集中制御タイプ

- ①付属の電源線を、3ピンコネクターに接続してください。
- ②左縦枠からでている雨センサーリード線を、2ピンコネクターに接続してください。
- ③カセット枠同梱の壁スイッチ接続コード(本体側)を、8ピンコネクターに接続してください。

(図-3)

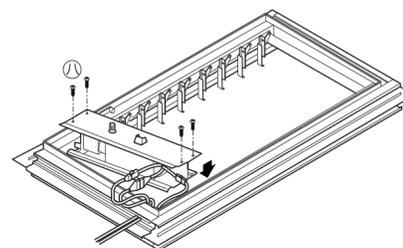


■交換用コードを使用する場合

- 壁スイッチまでのコードの長さが5mでたりない場合は、別途交換用コードを手配してください。

10m	20m
AGCZ006	AGCZ007

4 カセット枠の取付け (図-4、5参照)

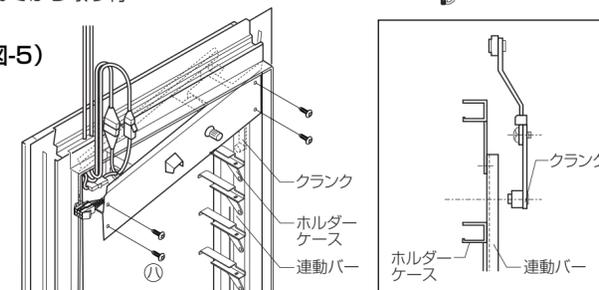


4 カセット枠の取付け

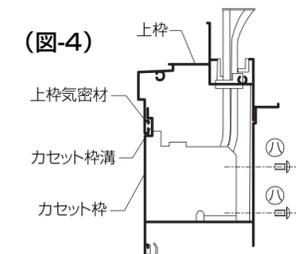
- 接続コード・電源線・連窓用接続コードを上枠の配線穴に通します。次に上枠の気密材とカセット枠の溝を引っ掛けて位置決めし、縦枠のナット部へねじ止めします。

- ※カセット枠のモーター側のクランクを、連動バーの裏側に差し込んでから取り付けます。

(図-5)



(図-4)



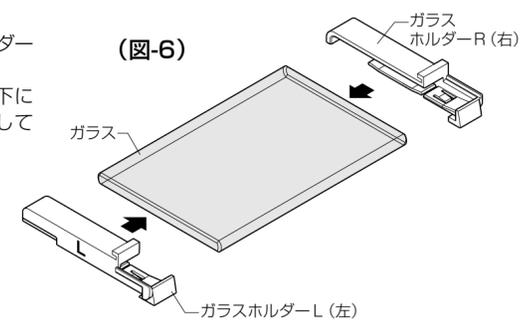
5 ガラスの取付け (図-6、7参照)

5 ガラスの取付け

1. ガラスホルダーの取付け

- ガラスの左右両端にガラスホルダーを差し込みます。
- ※型板ガラスの場合、模様面が下になるようにホルダーをセットしてください。

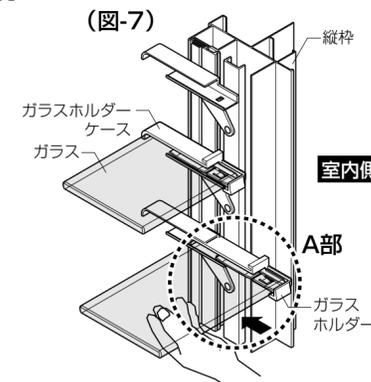
(図-6)



2. ガラスホルダーケースへのガラスの取付け

- ①ガラスホルダーケースを水平にしてください。
 - ②ガラスを差し込みます。
- ※防犯の為、必ずガラスホルダーの突起部とホルダーケースの穴が合っているか、手で引いて確認してください。ガラスがぬける時は強く押し込んでください。

(図-7)



■A部詳細図

